



新しい年の始まりに寄せて ～丙午の年に燃える心を～

校長 浅見正史

明けましておめでとうございます。

令和8年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。丙午は「火の陽気」を象徴し、情熱やエネルギーに満ちた年とされています。火は、暗闇を照らし、寒さを追い払い、そして新しいものを生み出す力を持っています。



生徒の皆さんの心にも、小さな火花があります。「私の強みはこれだ」「これをやってみたい」「もっと成長したい」という挑戦する気持ちです。その火花を消さずに、大きく燃やしてください。挑戦には失敗がつきものですが、失敗は火を消すものではなく、むしろ火を強くする燃料でもあります。失敗を恐れず、一歩踏み出す挑戦する勇気を持ちましょう。

そして、中学校生活は勉強や部活動、友人関係など、さまざまな場面で自分を成長させる機会にあふれています。ときには、思うようにいかないこともあるでしょう。でも、そのときこそ「自分にはまだ伸びしろがある」と信じてください。努力を重ねることで、必ず心の火は輝きを増します。

また、丙午の年は、情熱を持って挑戦する人に味方します。だからこそ、今年は「自分の心の火を燃やす」ことを意識してください。目標を立て、挑戦し、仲間と支え合いながら進む一年にしましょう。皆さん一人ひとりの心の火が集まれば、東中全体が明るく、温かく、力強い場所になります。

最後に、こんな言葉を贈ります。

**「情熱は未来をつくる力。君の心の火を今年もっと燃やそう！3年生はラストスパートだ！」**

令和8年が、皆さんにとって最高の一年になることを願っています。



【保護者・地域の皆様へ】 ～ 新たなまちクラブ（地域クラブ活動）を目指して ～  
文部科学省「部活動改革及び地域活動の推進等に関する総合的なガイドライン」より

### <改めて、部活動改革の理念とは>

- 急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実するためには、部活動改革を進めることが不可欠。
- これまで学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支えることで、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障することが必要。
- 障害のある生徒や運動・文化芸術活動が苦手な生徒等を含め、全ての生徒がそれぞれの希望に応じて多種多様な活動に参加できる環境を整備することが重要。

### <地域クラブ活動において実現が期待される新たな価値の例は>

- ①生徒のニーズに応じた多種多様な体験、②生徒の個性・得意分野等の尊重、③学校等の垣根を越えた仲間とのつながりの創出、④地域の様々な人や幅広い世代との豊かな交流、⑤適切な資質・能力を備えた指導者による良質な指導、⑥学校段階にとらわれない継続的な活動（引退のない継続的な活動）及び地域クラブ活動の指導者による一貫的な指導

大宮東中学校は、さいたま市部活動地域展開モデル校として『学校部活動』から『まちクラブ（地域クラブ活動）』へ、地域の子どもの成長を支える指導者とまちクラブ事務局員を募集しております。明日を担う子どもたちの笑顔のために、また、未来の部活動づくりのためにあなたや地域の力をお貸しください！

問合せ先：大宮東中学校 校長・教頭 TEL048-641-0808